

# AO入学試験 2018 (4期)(5期)(6期)(7期) 体験授業の内容について

## 体験授業のポイント

1. 制作・企画に対して興味関心を持ち積極的に取り組んでいるか
2. 課題意図を正しく理解しているか
3. アイデアや構想段階、また制作・企画過程などで創意工夫ができているか
4. 教員や受講者とのコミュニケーションをとることができるか

授業名	地域のイベントを企画する
課 題	伝統的な祭礼や現代のお祭り（フェスティバル）などのイベントの仕組みを理解したうえで、人と人がつながる楽しいイベントを企画し、提案（発表）してください。
大学で用意するもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メモ用紙</li> <li>・企画提案用ワークシート</li> <li>・祭りやイベント企画に関する資料など</li> </ul>
持参するもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記用具</li> </ul>
具体的なすすめ方	<p>現代の地域社会には、様々なイベントが開催されています。一方で滋賀県は伝統的な祭礼の宝庫といわれ、各地で地域の人々に支えられた独特なお祭りが年中行事として行われています。中でも、神に捧げる食べものを投げつける、山の上からお神輿を引きずり下ろす、大きな鍋をかぶった童女が参道を練り歩くなどのいわゆる奇祭（珍しい風習やおもしろい伝承を持つお祭り）がたくさんあることでも知られます。</p> <p>授業の初めに、現代のイベントや伝統の祭りを紹介し、現代の新しいイベントがどのような理由で行われるのか、また、なぜ伝統の祭りが無くならず今までの続けられてきたのかなど、その目的や機能、役割などを考えます。</p> <p>その後、準備されたイベントや祭りに関係する資料を調べながら、イベントや祭りの中心となる行事を考え、なぜそのような行事が行われるのかなど、自分で伝承などの物語をつくって、仮想のおもしろいイベントや祭礼を提案します。</p> <p>そして、それらを企画提案用ワークシートにまとめて記入して、最後に発表します。</p>
制作のヒントと担当者からのメッセージ	<p>地域のお祭りは、五穀豊穡や疫病退散など、神に供物を捧げて祈る意味と、地域の人と人をつなぎ、コミュニティを形成するという機能を持っています。</p> <p>また、現代のイベントには、スポーツや音楽、ワークショップ、マルシェなど様々な催しがあり、そこにも多様なコミュニケーションが展開されます。</p> <p>現代のイベントにも伝統的なお祭りにも①導入部（オープニング・神様を迎える）、②中心部（メインイベント・神様に捧げる）、③終焉部（フィナーレ・神様を送る）という3段階があります。</p> <p>その3段階を軸として、イベントやお祭りがなぜ行われるようになったのかという仮想のストーリーを考えようとして、地域の象徴となり、地域の人々に愛され、そして今後百年続いていくような楽しい企画を考えてください。</p>